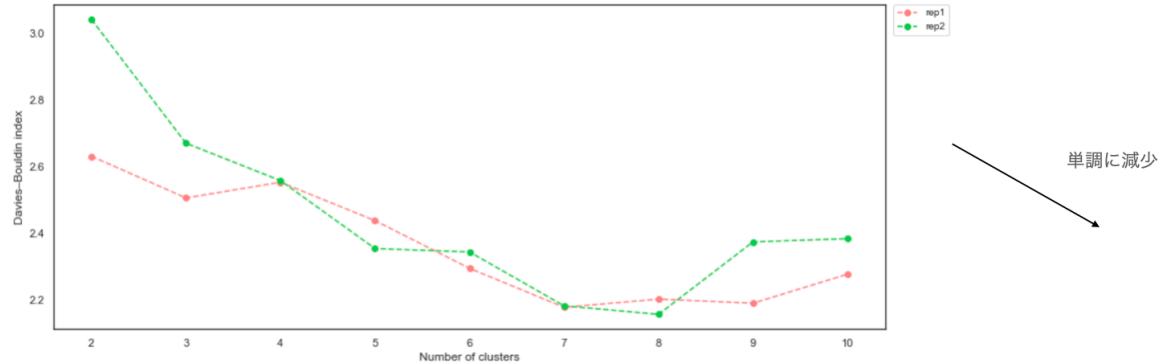


TODO

DRG: 内臓組織



Davies-Bouldin indexを用いて、最適なグループ数（kの値）を探索
→ 最小なるクラスター数が最適なグループ数を示す

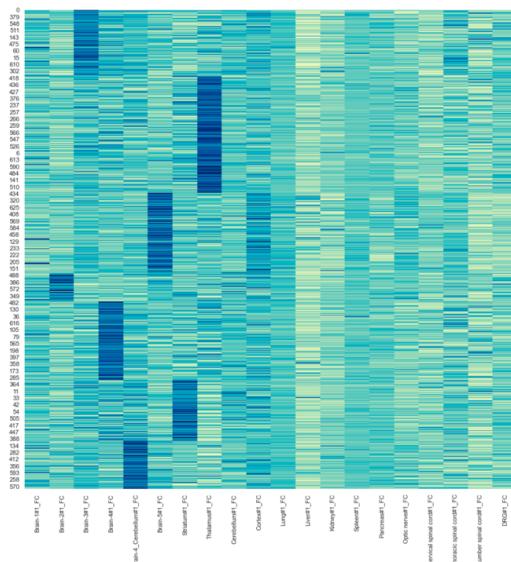
rep1 -> k=7
rep2 -> k=8

Brainグループに含まれる数多くの組織で
頻度の高い帯がよく観察されるようなグループ分けになる

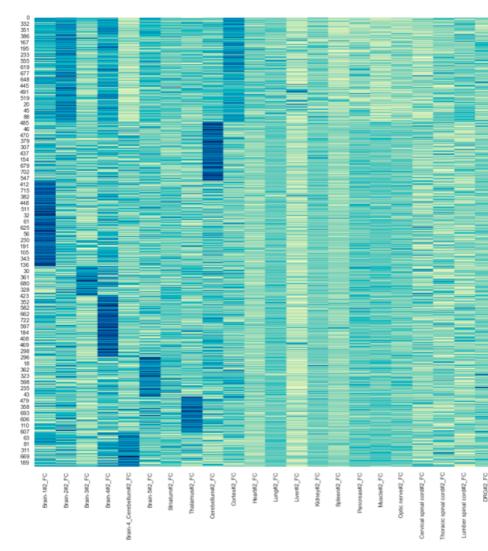
2つの個体がkの値が異なるのは、個体間で配列頻度にばらつきがあることが関係すると考えられる

DRG: 内臓組織

k=7



k=8



>0のもの除外

フィルタリング（ノイズ除去）

個体間のデータをマージ

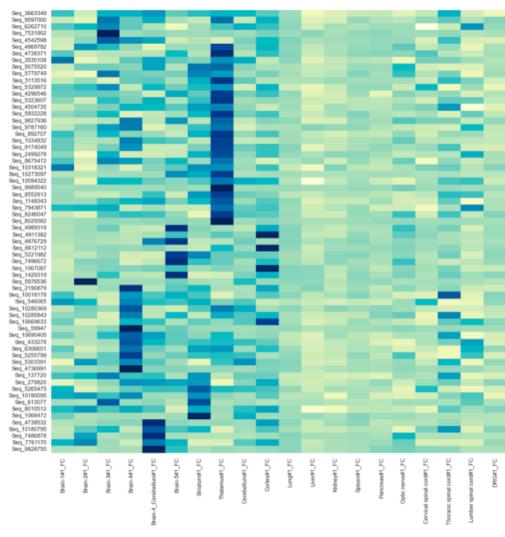
グループごとの配列類似性

>0のもの除外

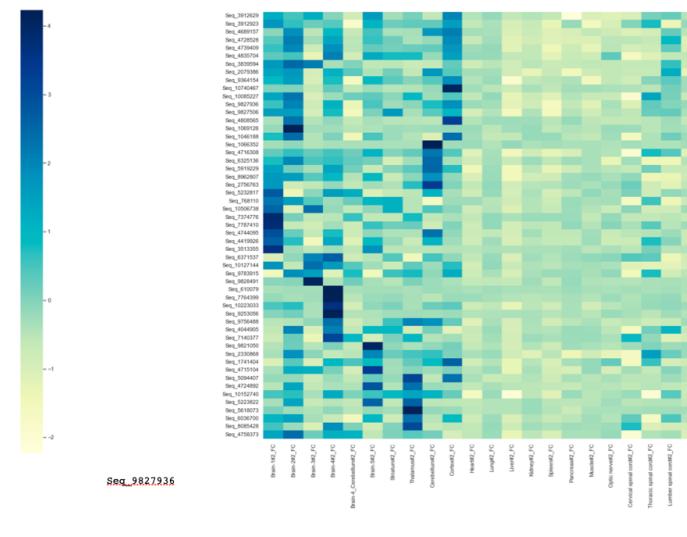
DRG: 内臓組織

フィルタリング後（ノイズ除去）

>0のもの除外

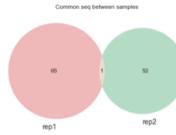


66個



53個

個体間のデータをマージ
=和集合を考える



DRG: 内臓組織

グループごとの配列類似性

Rep1

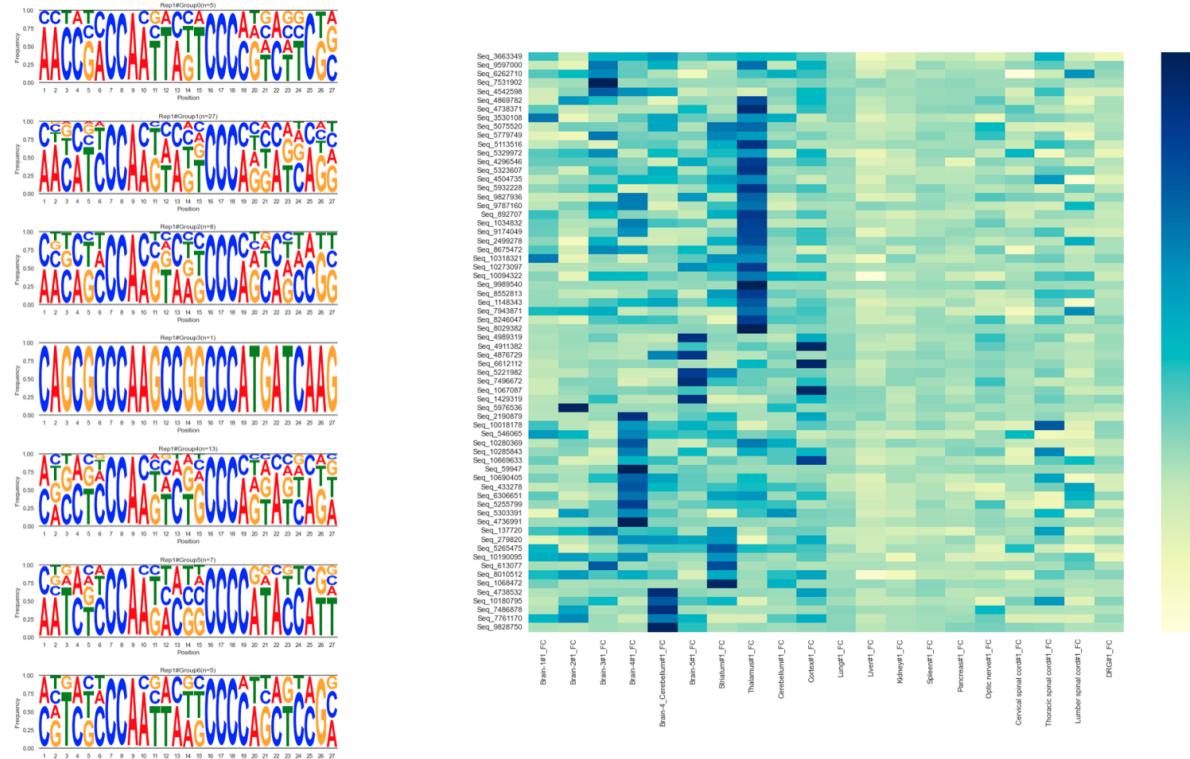
グループごとの
配列プロファイル

Rep2

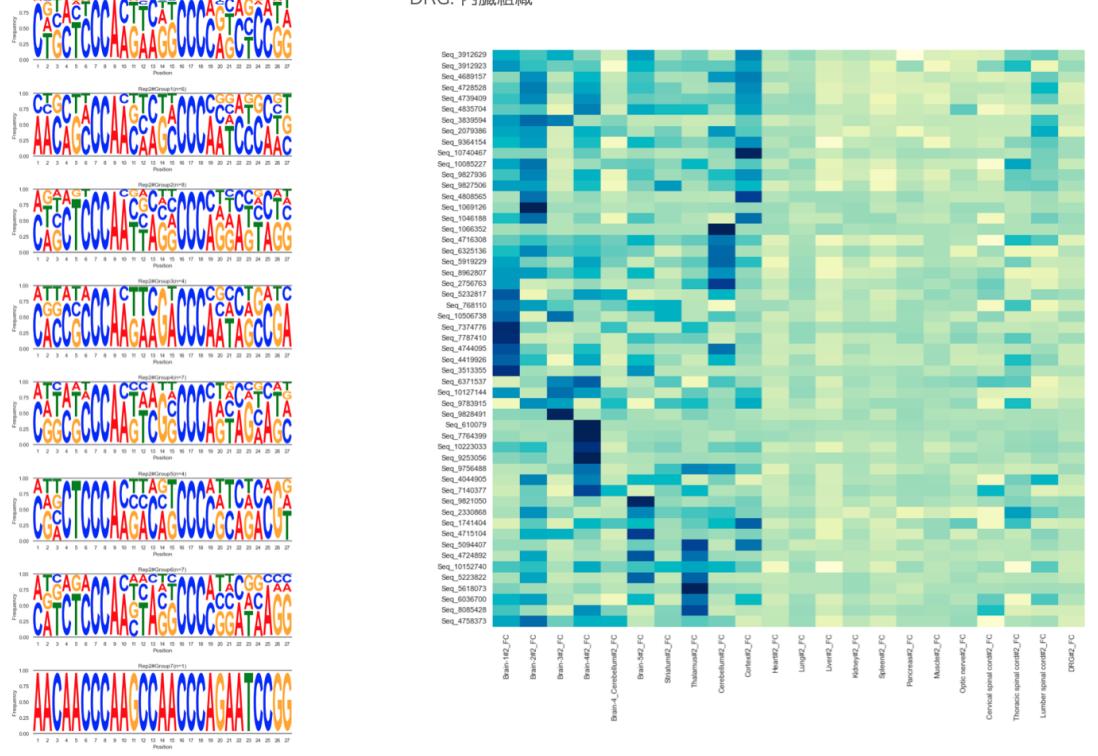
グループごとの
配列プロファイル

共通点は？

DRG: 内臟組織

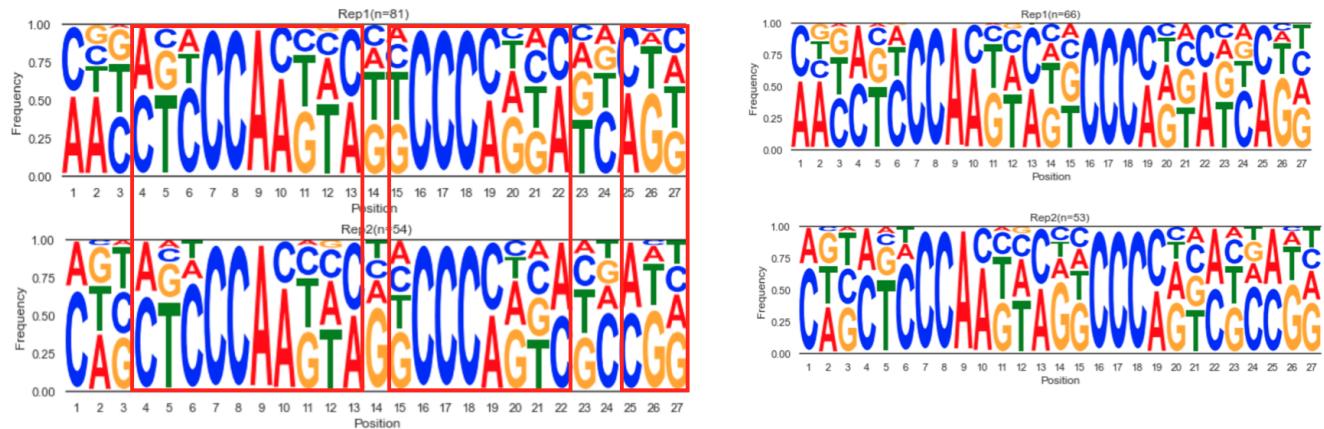


DRG: 内臟組織



DRG: 内臓組織

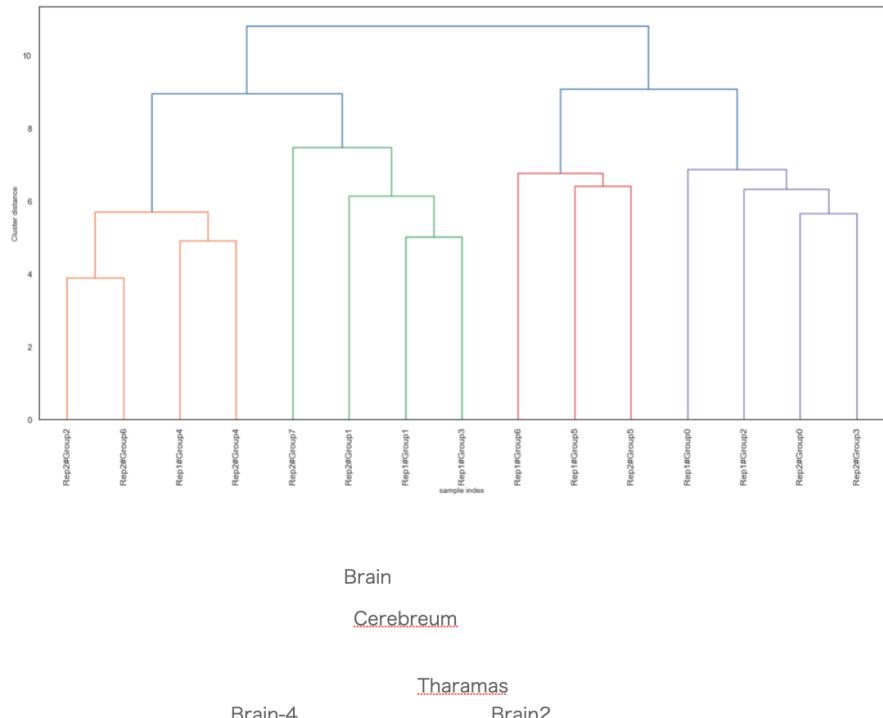
Brainグループで高い頻度で出現する配列では、個体間で塩基の出現の仕方が似ている



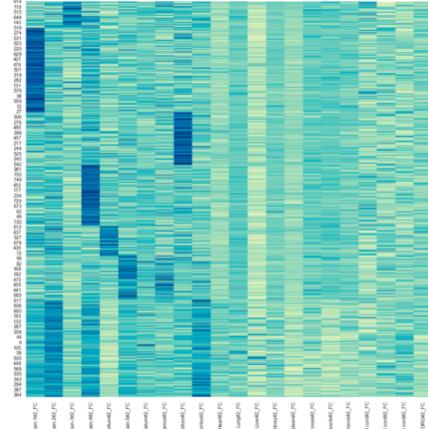
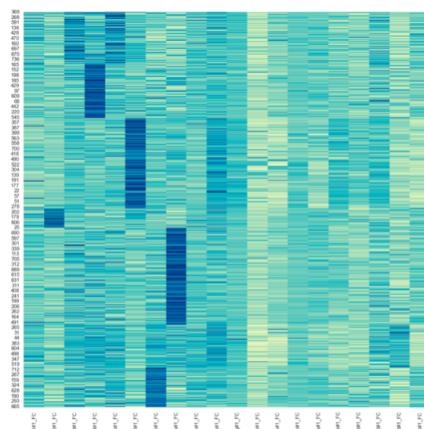
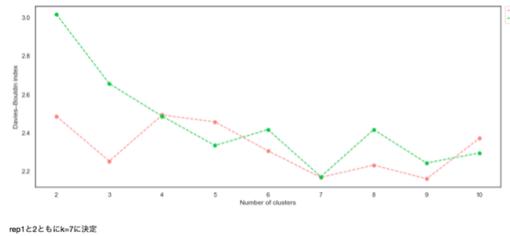
Brainグループに属する組織の中で
クラスタリングされた配列の組成に着目すると
脳組織ごとに多様性が見られる

つまり、
標的配列は組織特異的に導入効率が異なる特徴を有しているのかも

DRG: 内臓組織

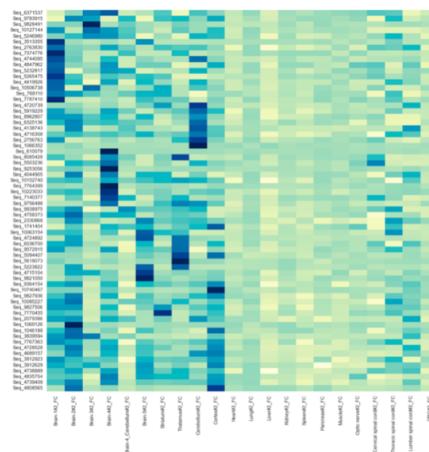
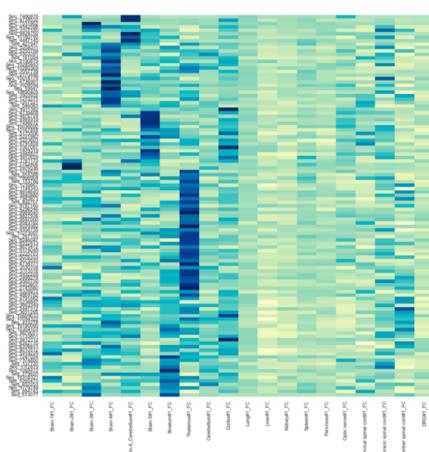


DRG: 神經組織

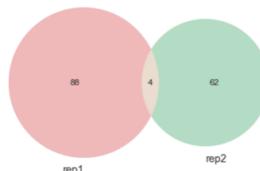


DRG: 神經組織

内臓組織 < 0 & DRG < 0



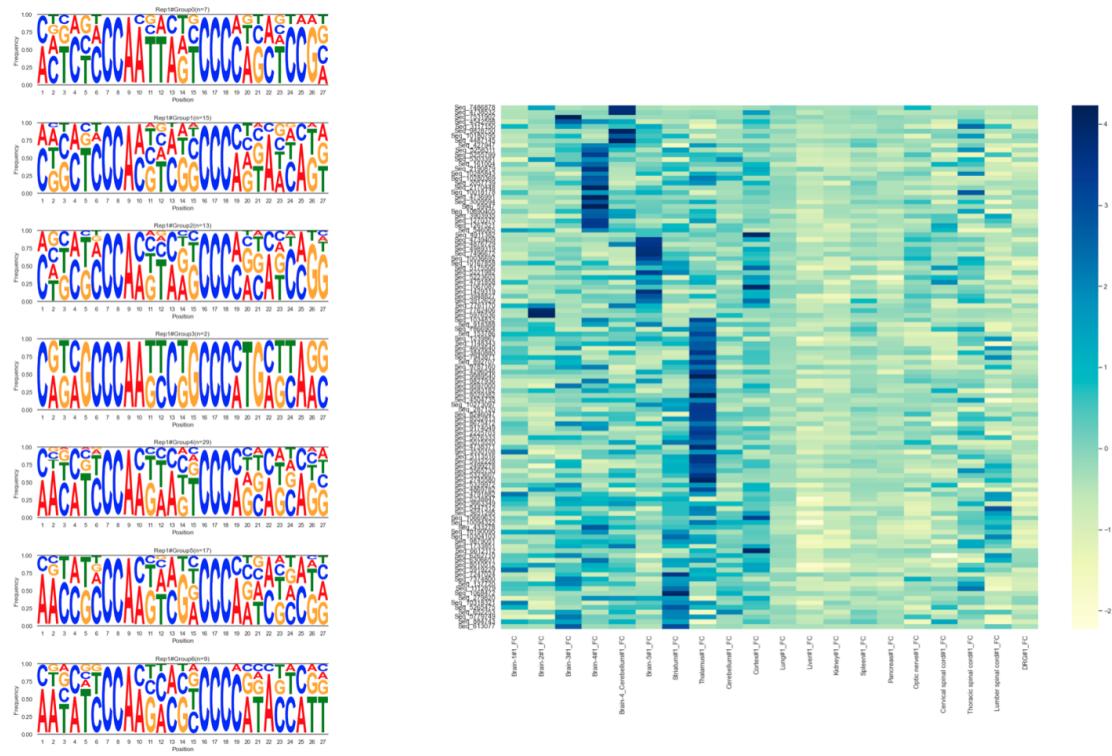
92個



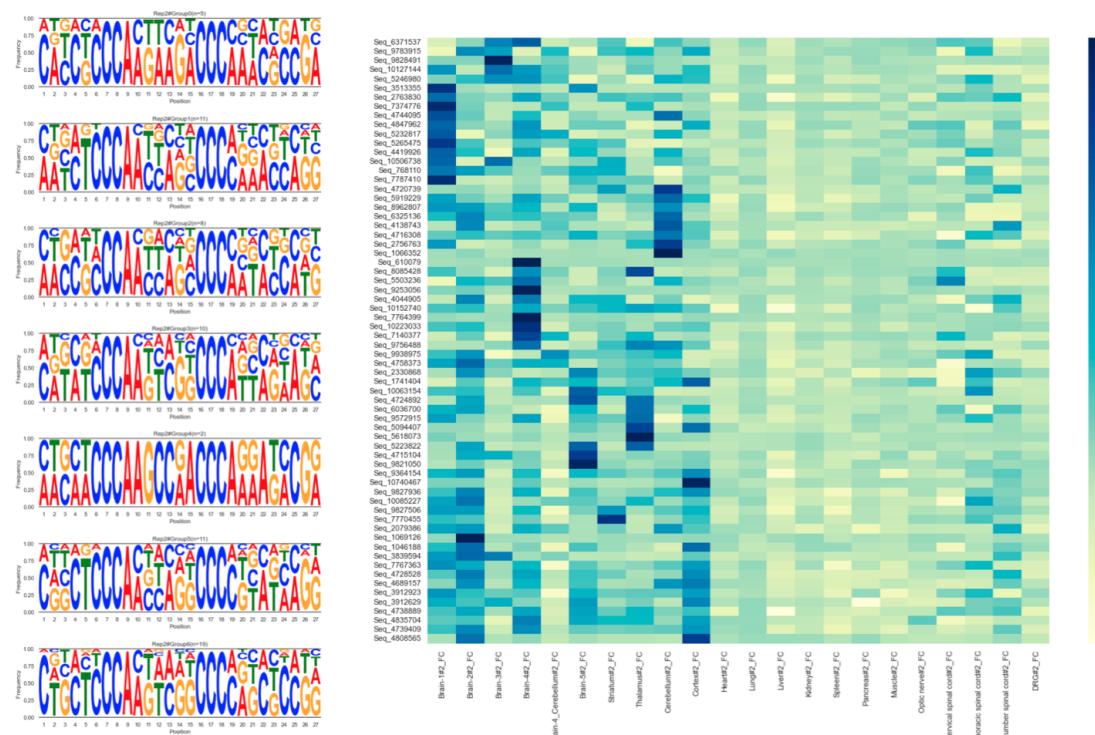
66個

Seq_5265475, 'Seq_9827936', 'Seq_5919229', 'Seq_4739409'

DRG: 神經組織



DRG: 神經組織



DRG: 神經組織

